

## 2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2101230	文化人類学 Cultural Anthropology	浦田 葉子	基礎	2	選択	1年 後期
<b>科目の概要</b>						
現代世界は多様化しており、異なる他者の理解が課題となっているが、文化人類学的なものの方見方はその課題解決に役立つ。この科目ではまず文化人類学の代表的な学説を時代の流れに沿って学び、次に文化人類学のテーマの中から、エスニシティとそれに関連する概念を事例によって学ぶ。この科目は pisa 型学力、他者理解力、社会問題の認識、自立した社会人としての教養の修得につながる。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 文化人類学の代表的な理論を学ぶ。 ② エスニシティとそれに関連する概念を学ぶ。			① 文化人類学の代表的な理論が理解できる。 ② エスニシティとそれに関連する概念が理解できる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	理論・概念を実際の場面でどう活かしたらいいか、自分で考える。				
	働きかけ力					
	実行力	授業の課題を着実にこなすことができる。				
考え抜く力	課題発見力	異なる他者の理解のために、解決すべき問題が何かを認識する。				
	計画力					
	創造力	思い込みから解放され、異なる他者との問題解決策を提案することができる。				
チームで働く力	発信力	聞き手を意識して、はっきりと話す。				
	傾聴力	集中力を高めて、他者の説明・発表を聴く。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	時間を守る。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
プリント随時配布。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
博物館学芸員						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
授業で扱う話題をきっかけに、身の回りの多様性に目をむけてください。			授業開始時刻20分を超える遅刻は出席簿の上では欠席として扱います。ただし、授業参加はできます。途中退出の際は教員に名前と理由を教えてください。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	30	①	✓	小課題提出の回数と内容によって平常の努力を評価する。予習・復習ができているかを評価する。
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
レポート	30	①	✓	レポート試験では、出題の意図を理解し、根拠を明らかにし、自分の言葉で説明していることを評価する。
		③	✓	
		③		
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	授業のワークのまとめ発表(15点)、レポート研究対象発表(5点)とレポート概要発表(10点)を評価する。
		③	✓	
		③		
		④		
		⑤		
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)理論・概念を実際の場面でどう活かしたらいいか、自分で考える。(実行力)授業の課題を着実にこなすことができる。(課題発見力)異なる他者の理解のために、解決すべき問題が何かを認識する。(創造力)思い込みから解放され、異なる他者との問題解決策を提案することができる。(発信力)聞き手を意識して、はっきりと話す。(傾聴力)集中力を高めて、他者の説明・発表を聴く。(規律性)時間を守る。
		③	✓	
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
理論・概念を理解し、授業で扱ったものとは別の事例に当てはめて、分析できる。S(秀)さらに複数の事例を比較し、違いから仮説を立てることができる。	理論・概念を理解し、授業で扱った事例に当てはめて、分析できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ガイダンス。シラバスを確認する。文化的人類学とは何かを学ぶ。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	シラバスが確認できる。文化人類学がどのような分野か理解できる。	(復習)授業で扱った事柄に関して文献検索し、情報を記録する。	90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性
2週 /	大航海時代、ヨーロッパ人が発見した異人の記述が後の文化人類学につながることを学ぶ。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	植民地主義とヨーロッパ人の非ヨーロッパ人に対する見方について理解することができる。	(予習)配布プリントの用語の意味を調べる (復習)授業で扱った事柄に関して文献検索し、情報を記録する。	90 90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性
3週 /	進化主義と伝播主義について学び、人種主義と人種概念を理解する。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	自然科学モデルを取った進化主義とその批判として現れた伝播主義について学ぶ。人種主義と人種概念が理解できる。	(予習)配布プリントの用語の意味を調べる (復習)授業で扱った事柄に関して文献検索し、情報を記録する。	90 90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性
4週 /	機能主義と構造機能主義について学ぶ。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	デュルケムの機能主義の影響を受け生まれた機能主義と構造機能主義が理解できる。	(予習)配布プリントの用語の意味を調べる (復習)授業で扱った事柄に関して文献検索し、情報を記録する。	90 90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性
5週 /	文化相対主義について学ぶ。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	進化主義と伝播主義の批判として生まれた文化相対主義について理解できる。	(予習)配布プリントの用語の意味を調べる (復習)授業で扱った事柄に関して文献検索し、情報を記録する。	90 90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性
6週 /	構造主義について学ぶ。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	レヴィ=ストロースの構造主義の根底にある考えを理解することができる。	(予習)配布プリントの用語の意味を調べる (復習)授業で扱った事柄に関して文献検索し、情報を記録する。	90 90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性
7週 /	構造主義以後の学説について学ぶ。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	構造主義に影響を受けた学説の例が理解できる。	(予習)配布プリントの用語の意味を調べる (復習)授業で扱った事柄に関して文献検索し、情報を記録する。	90 90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性
8週 /	産業革命後の西欧の近代国民国家成立と人の大量移動について学ぶ。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	植民、移民、奴隷、国民、民族、偏見、差別の概念が理解できる。	(予習)配布プリントの用語の意味を調べる (復習)授業で扱った事柄に関して文献検索し、情報を記録する。	90 90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	エスニシティの境界論について学ぶ。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	客観・主観定義、自己・他者による定義、文化的同化、マジョリティ、マイノリティの概念を理解する	(予習)配布プリントの用語の意味を調べる (復習)授業で扱った事柄に関して文献検索し、情報を記録する。	90 90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性
10週 /	エスニシティの意識的側面について学ぶ。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	表象、文化活性化、政治的エスニシティの概念が理解できる。	(予習)配布プリントの用語の意味を調べる (復習)授業で扱った事柄に関して文献検索し、情報を記録する。	90 90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性
11週 /	市民ナショナリズムとエスニシティをマジョリティの視点から見る。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	普遍主義、社会統合の概念が理解できる。	(予習)配布プリントの用語の意味を調べる (復習)授業で扱った事柄に関して文献検索し、情報を記録する。	90 90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性
12週 /	市民ナショナリズムとエスニシティをマイノリティの視点から見る。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	平等主義、多文化主義の概念が理解できる。	(予習)配布プリントの用語の意味を調べる (復習)授業で扱った事柄に関して文献検索し、情報を記録する。	90 90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性
13週 /	レポート研究対象を発表する。クラスで質疑応答する。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	レポート研究対象を発表することができる。質疑応答できる。	(予習)発表準備をすすめる。 (復習)クラスでの質問を参考に発表を見直す。	90 90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性
14週 /	レポート概要を発表する。クラスで質疑応答する。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	レポート概要を発表することができる。質疑応答できる。	(予習)発表準備をすすめる。 (復習)クラスでの質問を参考に発表を見直し、レポート作成に活かす。	90 90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性
15週 /	今学期の授業を振り返り、全体のまとめを行う。	講義(理論、概念)、個別ワーク、グループワーク	授業で扱った理論、概念、人名などが歴史的背景の中に大まかに位置づけられる。	(予習)配布プリントを見直す。 (復習)振り返って、レポート作成に活かせることがないか考える。	90 90	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力